

船舶事故調査報告書

平成31年1月16日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）

委員 田村 兼吉

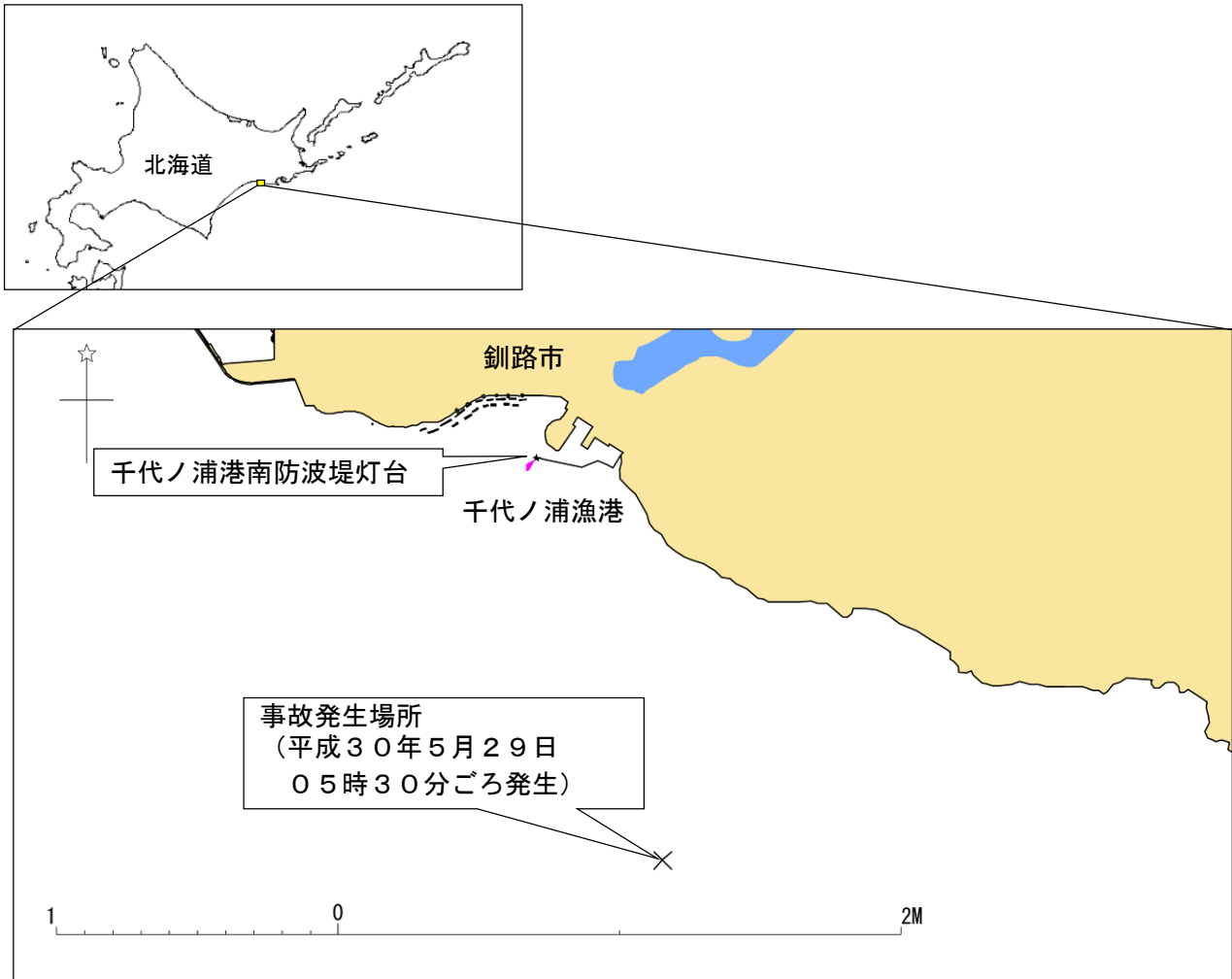
委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員負傷
発生日時	平成30年5月29日 05時30分ごろ
発生場所	北海道釧路市千代ノ浦漁港南南東方沖 千代ノ浦漁港南防波堤灯台から真方位163° 1.5海里（M）付近 （概位 北緯42° 56.5′ 東経144° 23.8′）
事故の概要	漁船第二十一 ^{えいりん} 永運丸は、定置網の網起こし作業中、船長が左上肢をボールローラに挟まれて負傷した。
事故調査の経過	平成30年6月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第二十一永運丸、17トン HK2-20309、有限会社マルコ小林漁業 19.49m（Lr）×4.20m×1.28m、軽合金 ディーゼル機関、漁船法馬力数160、平成6年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 平成29年5月26日 免許証交付日 平成29年5月26日 （平成34年5月25日まで有効）
死傷者等	重傷 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	本船は、船長及び機関長ほか5人が乗り組み、定置網漁の目的で千代ノ浦漁港を出港し、平成30年5月29日05時15分ごろ‘釧路市千代ノ浦漁港南南東方沖に設置された定置網’（以下「本件定置網」という。）の‘魚捕部を甲板上に巻き上げて、漁獲する作業’（以下「網起こし作業」という。）を開始した。 本船は、本件定置網の西側の魚捕部の網起こし作業を終え、東側の魚捕部の網起こし作業を開始し、船長が、前部甲板右舷側に設置されたボールローラの船尾側に、右舷側を向いて立ち、ボールローラを操作し、東側の魚捕部の巻き上げを開始した。

	<p>船長は、05時30分ごろ、巻き上げ中の魚捕部に海藻等のごみが付着しているのを認め、左手を舷外に伸ばしてごみを取り除いた直後、左肘が魚捕部と共に回転中のボールローラに巻き込まれた。</p> <p>船長は「あーっ」と声を上げながら、右手で左手首を持って、左腕を右側に強く引いてボールローラから外そうとしたところ、左上肢（左腕の肘から手首までの間）をボールローラに挟まれた。</p> <p>本船は、船長の声で異常に気付いた甲板員が、船長を前部甲板のハッチ蓋上に座らせ、携帯電話で救急車を要請し、千代ノ浦漁港に帰港した。</p> <p>船長は、救急車で市内の病院に搬送され、左モンテジ^ア骨折、左前骨幹神経麻痺、左上肢デグロービング損傷等と診断された。 （付図1 事故発生場所概略図、付図2 本事故時の状況、写真1 本船、写真2 作業状況（再現） 参照）</p>
その他の事項	<p>本船には、定置網の網起こし作業に使用するボールローラが前部甲板と操舵室右舷側通路にそれぞれ1基ずつ装備されていた。</p> <p>本船は、網起こし作業を行う際、船長が前部甲板のボールローラを、機関長が操舵室右舷側通路のボールローラを操作して、2人が連携して他の乗組員への指示を行い、乗組員全員で作業を行っていた。</p> <p>船長は、定置網漁の経験が約10年あり、昨年4月から船長として乗り組んでおり、約7～8年のボールローラの操作経験があった。</p> <p>船長を含む本船の乗組員は、ボールローラ等に腕等が巻き込まれるのを防ぐ目的で、袖口がすばまったビニール製のジャンパーを着用していた。</p>
分析	<p>乗組員等の関与 あり</p> <p>船体・機関等の関与 なし</p> <p>気象・海象等の関与 なし</p> <p>判明した事項の解析</p> <p>本船は、千代ノ浦漁港南南東方沖で本件定置網の網起こし作業中、船長が、本件定置網に付着した海藻などのごみを取り除く際、ボールローラが回転している状況下、左手を舷外に伸ばしてごみを取り除いたことから、船長の左上肢が、ボールローラに魚捕部と共に巻き込まれて負傷したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、千代ノ浦漁港南南東方沖で本件定置網の網起こし作業中、船長が、本件定置網に付着した海藻などのごみを取り除く際、ボールローラが回転している状況下、左手を舷外に伸ばしてごみを取り除いたため、船長の左上肢が、ボールローラに魚捕部と共に巻き込まれたことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網の網起こし作業中、定置網に付着した海藻などのごみを取

り除く際は、ボールローラの回転を停止してから行うこと。

付図1 事故発生場所概略図



付図2 本事故時の状況

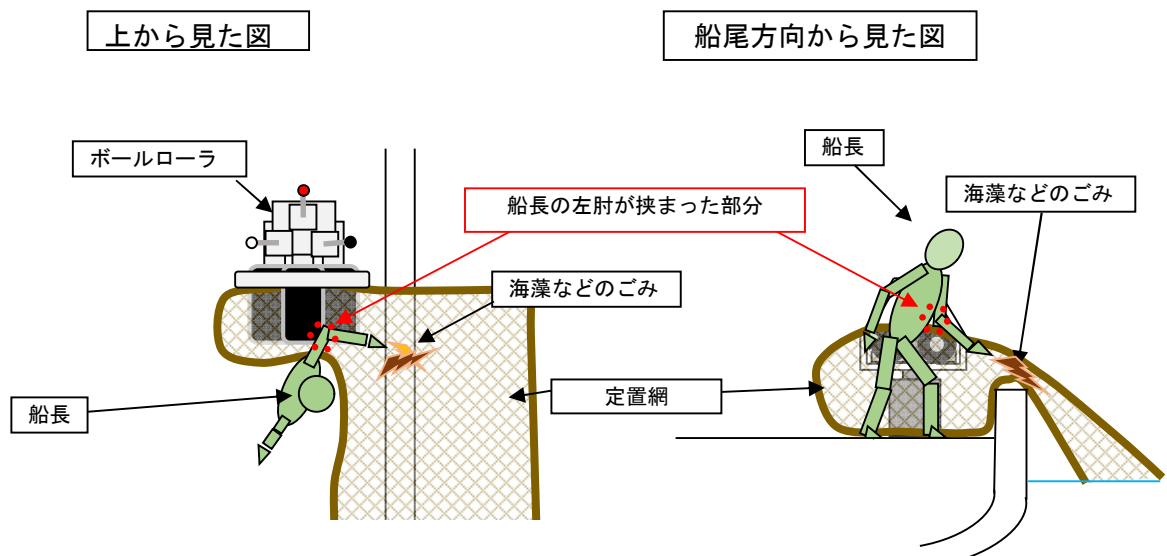


写真1 本船



写真2 作業状況（再現）

